

令和6年度 第3回学校運営協議会

1. 学校長挨拶

現在3年生が卒業に向けて大詰めの時期。生徒たちは楽しんで学校生活を送っている。

2. 委員

- A 大学教授（会長）
- B 障がい者福祉サービスの施設長（副会長）
- C 松原市内中学校校長
- D 松原市内小学校校長
- E 中小企業家同友会南東部ブロックより
- F PTA会長（欠席）

3. 学年、分掌より（達成状況の説明）

<3学年主任>

- ・在籍者数が1名減少した。学校に対して目的を持てなかった生徒が退学を選んだ。教員の関わり方の工夫がもう少し必要だったのではないかと感じる。欠席日数など数字の話をするだけでなく、もっと日常的な関りをするべきだった。残り数日ではあるが子どもたちとより密に関わっていききたい。
- ・出席状況がギリギリで過ごしている生徒が数名いる。
- ・2学期ごろから、自ら学習支援員に声をかけて提出など手伝ってもらうことが増えた。
- ・成績面でもギリギリの生徒が数名いる。その状況でもなかなか学校に来られない生徒がいるのでしっかりとアプローチしていきたい。
- ・10月下旬に文化祭があり、3年生の保護者で演劇関係の仕事をしている方に出演してもらい、音響や照明もプロの方にしていただいた。12月には劇団四季の「ウィキッド」を見に行った。プラスの意見が多かった。
- ・進学、就職に向けて頑張っている生徒が複数名いる。最後まで進路決定に向けて頑張っていきたい。

<2学年主任>

- ・2年生になって生徒指導面は落ち着いたが遅刻の指導が多い。
- ・文化祭では、今までめだたなかった生徒ががんばったり、生徒同士のコミュニケーションが増えた。
- ・修学旅行の中で生徒の価値観が変化していく様子が見られたのがよかった。特に民泊にて初対面の方とどうコミュニケーションをとれるか不安だったが、最後の退村式の時にしっかりと感謝の言葉を伝えられていた。
- ・勉強が苦手な生徒が多いが、提出物が出せるようになってきた。周りの協力を求めるなどヘルプを出せるようになってきた。
- ・進路実現に向けてはまだ決められていないという生徒が多い。

<学年からの説明に対する意見、質問>

委員：学習支援員は高校ではどのような立場でどのような仕事をされているのか。

教員：支援員は「障がいがある生徒の学びをサポートする」ために来てもらっている。位置づけは有償ボランティア。午前で1コマ、午後で1コマ。教員免許の有無は問わないため仕事は多岐にわたる。授業の中を全体で見てもらっている。その中で困っている生徒のヘルプをしてもらっている。復習プリントの作成もされている。

委員：学習支援員は単数配置か？

教員：複数配置（複数人来てもらっている）である。

委員：なぜ2学期から支援が手厚くなったのか？

教員：2学期になって困っている生徒の把握をしっかりできるようになった。

委員：修学旅行の場所は？

教員：修学旅行は沖縄本島で1泊、離島の伊平屋島で2泊。宿泊では自分のことだけでなく相手のことも考えるようにということをアプローチしていた。

委員：不登校の生徒への宿泊に関するアプローチは？

教員：不登校生徒が2年生にはいなかった。

委員：価値観の広がりについて。2つの大学で価値観についての話をしたときに、価値観の違う人とどう付き合っていたらいいのかという質問が多かった。価値観が違うことは当たり前で大事な違いを認め合うことではないか。社会に出れば違う人だらけなのでそのあたりを教えてもらいたい。部活動について、自分たちの時の部活動と違うので外部の方とのつながりや関りが大事になってくる。今後の1年少しの中で外との接点を増やすなど、そういった関りをしてもらいたい。

<教務>

- ・年末から年始にかけてパソコンのシステムの変更があった。校務処理システムも変更になったが、データ移行が正しくされていない。府立の各学校で同じような状況になっている。そのため本日は教務部長が職員室で業者と対応中のため学校運営協議会へ出席できない。現在教務関係で非常にややこしくなっている状況である。

<進路指導部>

- ・2年生で進路ガイダンスをおこない、幅広い選択肢の中から進路を決定している。2年生向けのガイダンスであるが、来年度も実施する予定である。
- ・進学講座で入試方法などの説明をしている。最近進路指導室にきて情報を集めて来る生徒が出てきている。
- ・3年生の進路決定率は90.3%である。大学2名、自衛隊受験者1名、就職3名が今後受験予定。未定のものが13名。
- ・来年の3年生はやや進学が多い。就職も一定数いるのでしっかりとサポートしていきたい。

<生徒会>

- ・学校行事について体育大会、文化祭を無事に終えることができた。来年度の応援団の団長、幹部を募ったが14名ほどの参加があった。1箇学年のためこういった形で行うか、学年とも意見交換しながら進めていきたい。
- ・文化祭では5台のキッチンカーを呼ぶことができた。キッチンカーは売り上げが悪ければ学校が補填しなければいけなかったが、補填したのは1台だけ、かつ少額であった。次年度は1箇学年だけなのでどう進めていくのか検討し、なるべく小規模にならないように工夫をしていきたい。途中から生徒会の仕事を担当することになったが、今年度の経験を来年に活かしていきたい。
- ・部活動について、ここ最近外部指導員との連携等も言われているが、本校としては部活動に加入している生徒は少ない。少ないながらも3年間継続して活動できるようにサポートしていきたい。
- ・生徒会執行部の活動について、挨拶運動を自分たちからやりたいと言い前向きに取り組んでいる。他にもテニスコートの整備をしたいなど前向きな意見が多い。

<生徒指導部>

- ・今のメインの課題としては、遅刻の数が多いなどの生活面の指導である。
- ・懲戒案件は昨年度より大幅に減り18件18名であり、そのほとんどが遅刻の指導である。規律面に関して高い意識を生徒が持っていると感じる。
- ・服装、化粧、装飾品の指導については教員側の意識の課題もある。
- ・頭髪指導については年間を通して指導している。特に男子のパーマの指導が多い。すぐに改善するのが難しいため、時間がかかる。

<保健部>

- ・今年度は検尿の未提出者、検診関係の未受検者が0であった。学年にもしっかり協力してもらい学校全体で動くことができた。
- ・清掃に関して、学期ごとに一斉清掃をおこなっている。それ以外にも教員が定期的に掃除をしていて学校全体で環境整備に努めることができている。
- ・安全点検に関して年二回安全点検をおこない、安全に学校生活を送れる環境を整えている。

- ・保健室利用について、授業が嫌で休むために利用する生徒が数名いる。そういった生徒へのアプローチも学年と協力しておこないたい。

<分掌からの説明に対する意見、質問>

委員：勤務校では8時30分登校であるが、25分の予鈴までには登校しようと取り組んでいる。しかし、25分の登校には間に合わない生徒が多い。今後中学校としても高校に送り出すうえで出席面に関してしっかりと指導していく必要を改めて感じた。

委員：進路講座に関して何か良い講座があれば教えていただきたい。

教員：面接練習や進路決定のための「進路コント」をしてもらって見たりしている。コントの中でマナー講座などもある。生徒も参加しながら学ぶことのできるものであった。卒業生に話をしてもらっている。

委員：費用は？

教員：かかっていない。進路関係の業者に依頼して来てもらっている。

委員：無料というのには違和感が少しある。どこかにしわ寄せがくる。何かの時間に何かの対価がないのは普通ではない。進路実現につながっているかどうかは別で考えたほうが良い。本当にその生徒が何をしたいのかという深い部分までヒアリングしないと会社や仕事のズレが生じる。本質的な適性まで見てもらいたい。

委員：来年度の文化祭の参加に向けて卒業生の動きは？

教員：卒業生からの連絡等は今のところないが、参加の検討はしていきたいと思う。しかし、一番大事なのは在校生（3年生）なので3年生の活動が良いものになるようにしたい。

委員：同窓会の今後の動きは？

教員：閉校と同時に同窓会の閉会が決まっている。

委員：昨年度は最終的に進路が決まったのか？

教員：二次、三次で決まった生徒もいるが、フリーターになった生徒もいる。

委員：就職選考で不合格になっているのはどんな理由か？

教員：主な原因としては欠席日数とコミュニケーション能力だと聞いている。

委員：境界線上の生徒はどれぐらい？

教員：半分ぐらいは境界線上にいる感覚。

委員：弊社で働いている生徒で、少し困り感を抱えている生徒が検査を受けて手帳を取得した人もいる。ただ、取ったところで何かがあるわけではない。

委員：卒業してからは手帳を取りにくい。できるだけ在籍中に取り方が良い。

教員：手帳取得に向けてアプローチするが、保護者が拒否することもある。

委員：生徒会の選挙について、18歳で選挙権を得ることや選挙への関心についてなにか工夫していることはあるか。

教員：生徒会選挙を、選管から用具を借りて実際の投票の形でおこなうことや、公共の授業の中で学んでいる。

3. 学校教育自己診断結果より

- ・閉校の影響もあるのか、アンケートの数字が上昇している。「平野高校に入学してよかった」と答えた保護者が100%、生徒が90%。肯定率は生徒と保護者が各質問で同じような数値となったが、学校へ行くのが楽しいという項目について保護者と生徒で乖離があった（保護者のほうがかなり高くなっている）。学校の授業が分かりやすいが90%、先生はいろんな工夫をしているが94%と高い数字になっている。

4. 令和7年度学校経営計画について

- ・中期目標は来年度の目標であり本校が出す最後の目標である。めざす学校像については変更はない。各項目について数値目標を載せている。

委員：遅刻の件数に関して学年平均ではなく総数にしては？

委員：2年生はどの地域から来ている？

教員：平野区や松原市など地域の子がほとんど。

委員：であればそういった状況も載せていいのでは。

委員：閉校前の1年というのは大変な状況だと思う。そんな中で実質どれぐらいの教員数で閉校に向けて動かれるのか？

教員：現在教員数は27名であるが、単純計算で半分にはならないと考えている。教員数が少ないことを強みとして捉えて楽しんで働きたい。

委員：現状の残業時間はどれぐらいなのか。

教員：月80時間を超えているのは1名。やむを得ない理由によるものであった。後は時期によって仕事が違うので、行事前は生徒会担当や、7月なら就職担当の残業が増えたりする。

委員：残業時間数に関して月の時間より年間の総時間にしたほうが良いのではないか。

令和7年度学校経営計画及び学校評価について、承認していただいた。

5. その他

1年間ありがとうございました。来年度もよろしく申し上げます。

本年度の卒業式の案内を後日送付します。来年度の最後の卒業式を含め、是非ご参加を検討ください。